

「車いす空の旅事業」協賛金300万円を寄付

神奈川県遊技場協同組合（理事長：伊坂重憲）と神奈川福祉事業協会（会長：伊坂重憲）は、社会貢献活動の一環として、神奈川新聞厚生文化事業団が行っている「車いす空の旅事業」に協賛して300万円を寄付しました。これに対して、同事業団理事長から感謝状をいただきました。「車いす空の旅」は、同事業団が主催して毎年行っている事業で、日頃から車いすで、生活している障がい児者とその家族を4月には沖縄へ、9月には北海道への飛行機での空の旅に招待しているものです。

1. 日時	平成28年6月21日（火）
2. 場所	神奈川新聞厚生文化事業団
3. 贈呈者	神奈川県遊技場協同組合・神奈川福祉事業協会
4. 受贈者	神奈川新聞厚生文化事業団 林 義亮理事長

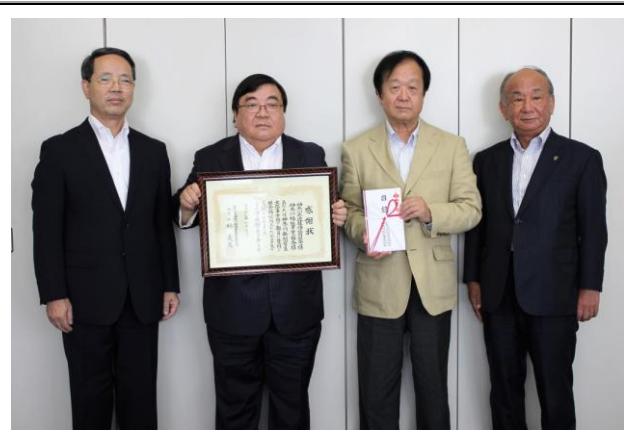
5. 概要

神奈川県遊技場協同組合と神奈川福祉事業協会は、協会が設立した昭和60年から31年間にわたって、様々な社会貢献活動に取り組んでいるところですが、この神奈川新聞厚生文化事業団が主催する「車いす空の旅事業」には、平成元年から今日まで継続して支援を続けています。

寄贈に当たって、伊坂会長は、「今年も、羽田空港で沖縄への旅に出発される皆さんのお見送りに参加しましたが、障がいを抱える方々の喜びの笑顔に直接触れ、大変うれしく感じました。経済事情が誠に厳しい中ですが、こうした時代であればこそ、これからもご支援を続けていきたい。」とあいさつをしました。

林理事長からは、「長年にわたってこうした寄付を頂けることは本当に有難いことです。また、職員の方にボランティアとして参加もいただいております。」との謝辞とともに感謝状をいただきました。

この贈呈式の模様は、神奈川新聞で紹介されました。



感謝状をいただいて



羽田空港でのお見送り